

地域おこし協力隊通信

— 第17回 —

「郷土史に興味を持つ
きっかけづくりに」

地域おこし協力隊 石井 紀子

まいど、仏像大好き石井です。
高玉芝居の台本や台本の元になつた冊子を見る機会がありました。明治期から昭和までの史料群で忠臣蔵や大岡越前守の話が多く、芝居を通して歴史に触れられたらとても楽しいことではないでしょうか。私自身、高校生のときに父の本棚にあった司馬遼太郎の『義経』や『新選組血風録』を読み、そこから歴史が好きになりました。

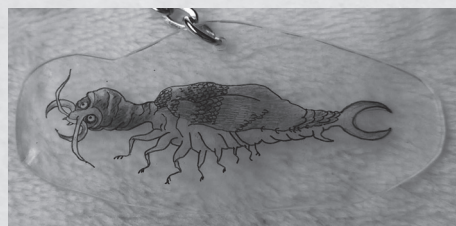


写真1：江戸時代に想像されたツツガムシの姿をキーホルダーにしたもの

こんな風に興味を持つきっかけがあれば、郷土史というジャンルも受け入れられるだろうと考え、6月24日に蚕桑コミセン主催の子ども放課後事業「蚕桑キッズ」にて、地域の信仰対象をキーホルダーにして遊びの中から歴史に親しむ企画を試みました。今回は信仰の中の動物に焦点を当てて絵を描き、それをキーホルダーにしました。蚕桑小学校の児童たちに分かりやすいように物事を解説し、蚕の信仰に関わる馬鳴菩薩（めみょうぼさつ）やツツガムシと医者・芳賀忠徳（写真1）、絵の中の鬼（写真2）などを伝えることができたと思います。



写真2：常福院『酒吞童子絵馬』より躍る鬼

町報川柳 — 今 —

白鷹の訛聞きたし今いずこ
ルール守り今日も安全通学路
今頃は汽車を降りて紅花路
雷鳴で今にも泣きそう幼子
今日は田植え息子と一緒青空の下
苦勞難今は幸せ笑顔難
今日元氣平和に感謝家族にも
今風の死亡広告「葬儀済み」
ホッとする只今の声玄関に
今やと親の足跡かじり出す
今の人昔は昔今は今
今でしよと言われてみてもうおそい
寒かった今度逢ふとき上衣たし
育ちゆく若葉の芽に今を注がん
愚痴らずに世渡り上手今に生き
米寿の祝今日の幸福感謝する
今葉飲んだ記憶が見つかからず
今のこと自分が何をするのか
河童忌や今夕じつくり本を読む
今日のつかれカラオケではっさんする
今日もまた平穩無事に時が過ぎ
今此処へ何しに来たと後もどり
今と過去比べて想う足跡を
目が覚めて今日に感謝日々があり
健康は我家の今の笑顔から
今が旬野山の幸で腹満たす
今日嫁ぐ娘に一隻祝い船
茶柱が立って滑らか今朝の口
今が旬心癒す野辺の花
うまい菓子今川焼きはおいしいね
つらい時今こそ笑顔で精一はい
今年も酸素を吸って健康で
今聞いて海馬不具合すぐ忘れ
昔酒今は病院まわりです
今朝もまた心明るく深呼吸
池に映え今年もネジ花忘れずに

坂戸市 安達 功
長井市 安部ありな
高岡 安部 健一
山口 石川與次衛門
荒砥甲 五十公野かをる
荒砥乙 五十七公野春己
世田谷 糸 マサ
鮎貝 植木 英夫
浅立 梅津 太一
浅立 梅津美千子
滝野 海老名きち
世田谷 遠藤 八重
横須賀 大滝健次郎
荒砥乙 木口 とよ
菖蒲 小関 弘
萩野 紺野 五月
鮎貝 佐藤 幸子
鮎貝 神保 玲子
荒砥甲 鈴木美貴子
十王 平 恒人
高玉 高橋 朝子
荒砥乙 土谷 灯一
箕和田 土屋 平敏
箕和田 土屋 敏子
広野 新野智耶子
高玉 橋本つね子
鮎貝 樋口 敬子
荒砥乙 保科 努
町田市 保高 悦子
十王 松田 久一
十王 松野いせ子
ふじみ野 村上 桂造
十王 守谷 勝助
十王 守谷 三郎
鮎貝 横沢 直太
山口 渡部喜美子

次回「知」七月二十五日まで。 「野」八月二十五日まで。
白鷹町大字荒砥甲八三三番地 白鷹町役場企画政策課情報係 宛